

第4回嘉麻市総合計画策定審議会 会議録

- 1 会議等の名称 第4回嘉麻市総合計画策定審議会
- 2 開催日時 令和8年6月17日(水) 10:00～
- 3 開催場所 嘉麻市役所本庁舎5階 本庁舎5階5A会議室
- 4 公開または非公開の別 公開
- 5 出席者

(1) 出席委員

嘉麻市誘致企業振興会	豊田 晃久
学識経験者	井原 徹
株式会社福岡銀行	松井 英之
自治労嘉麻市職員労働組合	後藤 雅子
J Aふくおか嘉穂	平畑 英幸
嘉麻市PTA連合会	木下 真智子
嘉麻市観光まちづくり協会	中村 瑠梨
九州テレ・コミュニケーションズ (株式会社ケーブルステーション福岡)	中村 香織
一般公募	志水 真由美
一般公募	皆川 遼

(2) 欠席委員

嘉麻・桂川保育協会	溝口 恭子
嘉麻市行政区長連合会	松岡 康則

※順不同、敬称略

(3) 執行機関

総合政策課	課長	小林 純一	課長補佐	伊藤 一洋
	係長	藤内 優	主任	香田 潤佑
	担当	犬丸 亮子		

- 6 傍聴人数 0人
- 7 議題及び審議の主な内容

【開催前に事務局より説明】

- 委員の交代について
- 総合計画策定支援委託業者紹介
- 前回会議時の志水委員からの質問に対する回答

【報告】

1. 市民アンケート結果について
2. メッセージボードについて
3. 団体アンケートについて

【協議】

1. 市民ワークショップについて

【その他】

嘉麻市総合計画策定審議会の開催日程について

8月19日、9月、11月、2月の第3週の水曜日

※9月以降は以前お示ししていた日程より変更

8 配布資料

- (1) 第4回嘉麻市総合計画策定審議会レジュメ
- (2) 委員名簿
- (3) 会議前説明資料（志水委員からの質問内容及び回答）
- (4) 2026(R8)年 6月総務財政委員会資料_【総合計画】_01-1 嘉麻市総合計画進捗等について（総合政策課）
- (5) 第3次嘉麻市総合計画策定にかかるアンケート調査報告書
- (6) 第3次嘉麻市総合計画策定にかかる「中学生」アンケート調査報告書
- (7) 市民ワークショップについて
- (8) ワークショップ進行案
- (9) ワークショップ冒頭説明資料

9 議事の内容

【開会前】

- 委員及び事務局職員の自己紹介について

大屋委員の代わりに松岡委員が新たに就任。

- 会議前説明資料（志水委員からの質問内容及び回答）

志水委員からの質問内容について、資料を使用し説明。

【報告】

1. 市民アンケート結果について
2. メッセージボードについて
3. 団体アンケートについて

上記をまとめて資料を用いて説明。

- ・第3次嘉麻市総合計画の策定状況について、令和7年度に実施した市民意向調査の結果から整理した主な課題を説明するとともに、令和8年度に実施する市民ワークショップ、女性100人会議、メッセージボード及び各種団体アンケートなど、市民意見を把握するための取組について説明。今後は、これらの意見や審議会での議論を踏まえ、基本構想及び基本計画の策定を進める予定であることを報告。

【主な質疑及び意見等】

なし

【協議】

1. 市民ワークショップについて

事務局及びジャパン総研が資料を用いて説明

- ・ 6月27日・28日の2日間、稲築・碓井・山田・嘉穂の4地区で各1回実施する。対象は15歳以上（中学生を除く）で、各会場40名程度を想定している。
- ・ 形式はグループワーク（1テーブル4～6名）で、所要時間は約2時間。ファシリテーションは市及びジャパン総研が担当する。
- ・ 総合計画の基本構想の柱となる市民のアイデアを収集し、10年後の将来像を明確化することを目的とする。
- ・ 当日は市の現状（アンケート結果等）を説明した後、3部構成のグループワークを行う。ワーク1（現状の共有）では嘉麻市の好きなところ・変わってほしいところを出し合いグルーピングする（約20分）。ワーク2（理想の未来像）では各班で10年後の理想をキャッチコピー風にまとめ、基本構想への反映を想定する。ワーク3（実現手段の検討）では、理想の実現に向けて地域・市民ができること、行政が行うべきことを整理し、計画に反映可能な提案を抽出する。
- ・ アンケート結果から抽出された6つの課題を、ワークショップの前提として活用する。
- ・ 周知については、広報6月号、行政区を通じたチラシ配布、教育委員会を通じた案内に加え、公式LINEや新聞社への情報提供を拡充する予定である。委員に対しても周知協力を依頼。
- ・ アンケート結果から抽出された主な課題として、①地域交通網の再構築、②産業振興と拠点活性化、③子育て・教育環境の質の向上、④地域医療体制の維持と福祉の充実、⑤行財政改革とDXの抜本的推進、⑥住環境の整備と地域コミュニティの再編の6点が示された。
- ・ 中学生アンケートでは、「勉強できる場所を増やしてほしい」との回答が最多であった（選択式設問。自由記述欄も別途設けている）。回答はタブレットで行っており、教員の目を意識した回答の偏りは限定的と考えられる。

【主な質疑及び意見等】

<質疑>

- ・ 10年前のワークショップの意見は、実際に市の計画にどの程度反映されたのか。

⇒詳細は事務局にて確認の上、改めて回答する。

- ・ 中学生アンケートで「勉強できる場所を増やしてほしい」が最多だった件について、選択式か自由記述式か、また学校で回答したことによる先生の目を意識したバイアスの可能性はあるか。

⇒基本的には選択式設問だが、自由記述欄も設けている。回答はタブレットで行っており、教員がその場で内容を確認することは想定しにくいため、心理的な偏りは限定的と考えられる。テーマは、勉強できる場所となっているが、集まる場所が欲しいということも考えられる。

- ・ 課題解決の視点だけでなく、良いところを伸ばす視点の意見の吸い上げも必要ではないか。

⇒総合計画には反映していく考えである。自然・歴史・文化等の強みは今後重点的に取り上

げていきたい。

- ・ワークショップの目的は、市全体を対象とするのか、各地区の検討を主眼とするのか。位置づけがやや中途半端に感じられる。
⇒各地区の特徴的な課題は紹介するが、総合計画自体は市全体に関わるものであるため、基本的には市全体の視点で考えてもらう方針である。
- ・アンケート結果を先に共有すると、参加者の発想が固定化され、自由な意見が出にくくなるのではないか。
⇒その点はファシリテーションの工夫で担保する。ワークショップは「10年後」を問う設計としており、現状の課題を踏まえた上でより良い将来像を描いてもらう構成としている。
- ・グループのテーブル編成は、年齢層を混在させるのか、それとも同質的に固めるのか。
⇒意見が出やすいよう、年齢層等である程度固める方針である。学生のためのテーブルなど、属性に応じた編成を予定している。
- ・ファシリテーターは1テーブルにつき何名程度を想定しているか。
⇒1テーブルに1名を基本とし、最大10テーブル程度を想定している。
- ・人口減少、医療機関数、バスの本数、従業者数等の客観的なデータを参考資料として示すことで、より具体的で説得力のある意見が出やすくなるのではないか。
⇒事務局にて準備できるものを準備し、ワークショップに臨みたい。
- ・他の自治体の結果をふまえて、嘉麻市との比較があれば教えてほしい。
⇒山田地区の買い物環境に対する課題意識は、他自治体と比較しても非常に高い。暮らしの満足度についても、一般的な水準よりやや低い印象。

【その他】

事務局より、

- ・審議会の開催日程について、8月19日は従来どおりとし、10月21日を9月24日（水）10:00～12:00に変更。
- 12月16日を11月4日（水）10:00～12:00に変更。
- ・10月に、基本構想案についてパブリックコメント（意見募集）を約1カ月間実施予定。
- ・11月開催分は、パブリックコメント結果の確認及び議会提出前の最終確認を予定している。
- ・アンケート結果から抽出された6つの課題について、追加すべき事項があれば、期限（6月22日頃）までに事務局へメールで連絡。